

# 温室効果ガス排出量 検証報告書

2023年12月22日

株式会社カカコム 御中

一般社団法人日本能率協会  
地球温暖化対策センター  
上級経営管理者 平川 雅宏



## 1. 検証の対象及び目的

株式会社カカコム（以下「事業者」という。）が作成した算定対象<sup>\*1</sup>における温室効果ガス（GHG）排出量算定結果「2022年度 GHG 排出量算定報告書」（以下「算定報告書」という。）に記載の2022年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の以下のGHG排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

### 1) スコープ1 GHG 排出量

算定対象において使用された都市ガス、及び、車両の使用によるガソリンに伴って直接的に排出されるCO<sub>2</sub>排出量

### 2) スコープ2 GHG 排出量

算定対象において電力の使用に伴って間接的に排出されるCO<sub>2</sub>排出量

検証の目的は、事業者のGHG排出量情報が算定方法<sup>\*2</sup>に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成しGHG排出量情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載されたGHG排出量情報に対する結論を表明することにある。

## 2. 検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements)の要求事項に従って検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載のGHG排出量を決定するために用いられた情報に関する、算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- GHG排出量の正確性を確認するためのサンプリングによる根拠となる資料の確認

### 3. 検証の結論

算定報告書に記載された GHG 排出量情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

スコープ	算定対象 <sup>※1</sup>	検証された温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> e)
スコープ 1	単体	6
	連結	9
スコープ 2 <sup>※3</sup> (マーケット基準)	単体	1,012
	連結	1,101
スコープ 2 (ロケーション基準)	単体	1,305
	連結	1,485
合計 (マーケット基準)	単体	1,018
	連結	1,110

項目	算定対象 <sup>※1</sup>	検証された電力使用量
電力使用量	連結	3,421,576 kWh
電力使用量のうち 再生可能エネルギー電力の使用量	連結	893,386 kWh
再生可能エネルギー電力使用比率	連結	26%

#### NOTE:

※1：算定対象：

- ・株式会社カカコム 単体：事業所 7 拠点、所有施設 1 拠点、及び、データセンター（データサーバーのみ）
- ・連結：以下グループ会社の事業所 5 拠点を含む
  - ・株式会社カカコム・インシュアランス
  - ・株式会社エイガ・ドッド・コム
  - ・株式会社エイガ・ドット・コム・オンデマンド
  - ・株式会社タイムデザイン
  - ・株式会社 webCG（スコープ 2 は単体に含まれる）
  - ・株式会社 LCL
  - ・株式会社 Pathee
  - ・株式会社ガイエ

※2：スコープ 1, 2 の算定方法：「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン (ver.2.5)」及び、事業者が作成した「算定手順」

※3：電力の排出係数：電気事業者・メニュー別調整後排出係数を使用

以上